

第2・3学年

国語科学習指導案

日時 平成17年10月13日(木)5校時

児童	2年生	男4名	女3名	計	7名
	3年生	男2名	女4名	計	6名
				合計	13名

授業者 箱石 悟

2年生

1 単元名

一 ようすを考えて読もう

教材名「お手紙」(光村図書 二年下)

2 単元について

(1) 児童について

2年生はこれまでに二つの物語教材を学習してきた。「スイミー」では、場面の様子や登場人物の気持ちを考えながら読むことを、「力太郎」では、場面の様子などについて、想像を広げながら読むことを主なねらいとして学習してきた。その結果、意欲的に国語学習に取り組み、登場人物の言動や心情、場面の移り変わりを読み取る力や、進んで物語を読もうとする態度が育ってきた。

2年生の児童は、自分から積極的に発言する児童と、発言はしないが、よく聞く児童に二分されるが、発言の機会を増やすよう指導してきた結果、発言の少なかった児童も自分の考えを発表できるようになってきた。

漢字の定着を図るため繰り返し指導し、既習の漢字を使うようになってきた。

また、「聞くこと」の指導を重ねてきた成果として、友だちの意見や発言にしっかりと耳を傾け、うなずきながら聞くことができるので、話し合い活動もうまく進めることができるようになってきている。

(2) 教材について

本教材「お手紙」には、ちょっぴりわがままで、自分勝手ながまくんと、一生懸命相手に優しい言葉をかけるかえるくん、まじめで人のよいかたつむりくんという、それぞれに特徴のある性格の三人の人物が登場し、がまくんとかえるくんの二人の会話文が中心となって、テンポよく話が展開されていく。読書・読み聞かせが大好きな2年生の児童にとって、この「お手紙」との出会いは、今まで以上に楽しく学習と向き合えるよい機会だと思われる。

子どもたちには、物語の世界に浸り、がまくんやかえるくんに寄り添ってともに喜んだり悲しんだりしながら、素直な心でお話の世界に入り込み思う存分想像を膨らませることのできる教材である。

3年生

1 単元名

一 場面の様子を想像しながら読もう

教材名「ちいちゃんのかげおくり」(光村図書 三年下)

2 単元について

(1) 児童について

子どもたちは、3年生でこれまでに二つの物語教材を学習してきた。

「きつつきの商売」では、描かれている情景を、叙述をもとに想像しながら読むことを、「三年とうげ」では、場面の移り変わりや情景を、叙述をもとに想像しながら読むことを主なねらいとして学習してきた。その結果、意欲的に国語学習に取り組み、登場人物の言動や心情、場面の移り変わりを読み取ったり、進んで物語を読もうとする様子が見られるようになってきた。

3年生のほとんどは国語が好きである。そのため意欲的に意見を交換したり、率先して黒板に書き込んだりしている。しかし、全体の前での発表は苦手な児童が多く、どうしても声が小さくなってしまふ。そのため、自信を持って発表させる指導をしてきた。

漢字の読み書きは、学習スキルや家庭学習などでも意欲的に取り組み、定着率も高い。ところが、単語では理解していても文章で使用するときは、学習した漢字を使わず平仮名になる児童もいる。

複式二年目なので、話し合い活動は比較的うまく進めることができる。

(2) 教材について

本教材「ちいちゃんのかげおくり」は家族そろって幸せだったちいちゃんが、戦争のためにひとりぼっちになり、ついにはひとりでかげおくりをしながら死んでしまうというお話である。本文は五つのまとまりから構成されており、特に最後の「それから何十年」かたった町の様子は、現代に生きる我々に平和の大切さと、それを守ることの尊さを示している。

児童にとって戦争という時代背景は難しいが、三つのかげおくりの情景を思い浮かべることで、その悲しさを十分感じさせたい。また、場面の様子を想像しながら、平和の大切さを考えさせるのに適した教材である。

(3) 指導にあたって

本単元では、会話や行動をもとに、それぞれの場面におけるがまくんとかえるくんの気持ちを押さえ、二人の様子の移り変わりをとらえることを中心に指導したい。そのために、会話や行動を讀みの視点に位置づけ、場面ごとの中心的な文を見つけさせ、かえるくんの優しさやがまくんの悲しみが幸せへと変わっていく心の動きを讀み取らせていきたい。

具体的には、第一の場面では二人とも悲しくなってしまった理由を、第二場面ではかえるくんの優しさと、急いでいるのかたつむりくんに頼んだことのアンバランスのユーモアを、第三場面ではあきらめの気持ちをもつがまくんと、自分の出したお手紙を待つかえるくんの気持ちを、第四場面では友情を、第五場面では待ちに待ったお手紙が届いたときの二人の心情を考えさせたい。

3 単元の目標について

(1) 目標

< 関心・意欲・態度 >

・登場人物の特徴をつかみ、楽しく音読しようとしている。

< 読むこと >

場面の様子をとらえ、会話文から登場人物の様子を想像して読んでいる。(読ウ)

・登場人物の様子が表れるように、読み方を考えて音読している。

(読工)

< 言語事項 >

・文中の主語と述語との関係を理解している。(読工)

(2) 研究仮説にかかわって

キ 様子を表す言葉・会話文に気をつけて読む。

4 学習計画(9時間扱い)

(3) 指導にあたって

本単元では、各自一人読みをしたときの感想をもとに課題を設定し、それぞれの場面でのちいちゃんの心情に寄り添いながら読み進めていきたい。そのために、会話や行動を讀みの視点に位置づけ、場面ごとの中心的な文を見つけさせていきたい。

具体的には、第一場面では家族そろってかげおくりをしたちいちゃんの幸せとそれに隠された父母の不安や切なさを、第二場面・第三場面ではひとりぼっちになってしまった不安や心細さを、叙述にそって讀み取らせたい。そして、第四場面では、再び家族と会えた喜びを讀み取らせるとともに、第一場面と対比させることにより、命の尊さ・戦争の悲惨さにも気づかせたい。最後の第五場面では、「天国のちいちゃんに手紙を書く」活動に取り組みせることにより、家族の大切さ・平和の大切さを考えさせたい。

3 単元の目標について

< 関心・意欲・態度 >

・言葉や表現に即して、場面の様子やその移り変わりを想像しようとしている。

< 読むこと >

会話や表現に即して、場面の様子やその移り変わりを想像しようとしながら読んでいる。(読ウ)

・場面の様子がよく分かるように声に出して読んでいる。(読力)

< 言語事項 >

・文章の中における語句の役割や、係り方に注意しながら読むことができるようにする。

(2) 研究仮説にかかわって

イ 人物の行動や気持ちを想像しながら読む。

4 学習計画(9時間扱い)

評価規準	到達目標(学習活動)	時数	到達目標(学習活動)	評価規準
A: 登場人物の気持ちになり、物語の展開を予想しながら、読み聞かせを聞くことができる。 B: 物語の展開を予想しながら、読み聞かせを聞くことができる。	物語の展開を予想しながら、読み聞かせを聞く。	持 つ	「ちいちゃんのかげおくり」という題名を手がかりにして物語の筋を予想したり、範読を聞いたりしながら、物語の感想を書き、学習の見通しを持つ。 時代背景を讀み取り、場面分けをする。	A: 登場人物の気持ちになり、物語の展開を予想しながら範読を聞き、感想を書くことができる。 B: 範読を聞いて思ったことを話し合うことができる。
A: かえるくんの優しさや、がまくんの悲しい気持ちを讀み取ることができる。 B: がまくんの悲しい気持ちを讀み取ることができる。	お手紙をもらったことのないがまくんの悲しみや、がまくんを思うかえるくんの悲しみ、思いやりを讀み取る。	見 通 す	かげおくりをしている家族と、ちいちゃんの様子や気持ちとを比べながら讀み取る。	A: 昭和初期の町並みや戦争中の暮らしが理解でき、「焼夷弾」「空襲」「防空壕」などの言葉を理解することができる。 B: 昭和初期の町並みや戦争中の暮らしが理解できる。
A: かえるくんの様子から、がまくんを思う気持ちを考えることができる。 B: かえるくんの様子から、気持ちを考えることができる。	大急ぎで帰ってがまくんのために手紙を書き、かたつむりくんに託すかえるくんの優しさを讀み取る。			A: 出征する前の父母の気持ちと、何も知らないちいちゃんの気持ちを讀み取ることができる。 B: かげおくりをしている家族と、ちいちゃんの様子や気持ちとを比べながら讀み取ることができる。

<p>A：何度も窓の外をのぞくかえるくんの気持ちを考え、がまくんを思うかえるくんの気持ちを読み取ることができる。</p> <p>B：がまくんとかえるくんの気持ちの違いを読み取ることができる。</p>	<p>手紙が届くの心待ちにしているかえるくんと、悲観的になっているがまくんの対照的な様子を読み取る。</p>	<p>学 び 合 う</p>	<p>独りぼっちになったことが分かったときのちいちゃんの様子や気持ちを読み取る。</p>	<p>A：独りぼっちになったときの心細さや悲しさ、知らない人たちの中で眠るちいちゃんの気持ちを読み取ることができる。</p> <p>B：独りぼっちになったことが分かったときのちいちゃんの様子や気持ちを読み取ることができる。</p>
<p>A：二人とも幸せな気持ちで座っている理由を読み取ることができる。</p> <p>B：がまくんの心情を読み取ることができる。</p>	<p>手紙のことを聞いて喜ぶがまくんと、幸せな二人の気持ちを読み取る。(本時)</p>	<p>本 時</p>	<p>お母さんやお兄ちゃんの帰りを独りぼっちで待つちいちゃんの様子や気持ちを読み取る。(本時)</p>	<p>A：お母さんやお兄ちゃんの帰りを独りぼっちで待つちいちゃんの様子や気持ちを読み取ることができる。</p> <p>B：お母さんやお兄ちゃんの帰りをどんな気持ちで待っていたのか読み取ることができる。</p>
<p>A：四日間待っている二人の様子を想像することができ、お手紙を届けてくれたかたつむりくんについても考えることができる。</p> <p>B：四日間待っている二人の様子を想像することができる。</p>	<p>手紙をもらって喜ぶがまくんと、かえるくんの優しさを読み取るとともに、四日間かかって手紙を届けたかたつむりくんについても考える。</p>		<p>かげおくりをしてまた家族に出会えたちいちゃんについて、思ったことを話し合う。</p>	<p>A：家族に出会えたちいちゃんは、死んでしまったという事実を理解することができる。</p> <p>B：かげおくりをしてまた家族に出会えたちいちゃんについて、思ったことを話すことができる。</p>
<p>A：悲しい気持ちでお手紙を待つ姿と、幸せな気持ちでお手紙を待つ姿を挿絵も見ながら比べることができる。</p> <p>B：悲しい気持ちでお手紙を待つ姿と、幸せな気持ちでお手紙を待つ姿を比べることができる。</p>	<p>「ふたりとも、かなしい気分」から「ふたりとも、とてもあわせな気持ち」になる物語のしぐみに気づく。</p>		<p>物語の最後にちいちゃんのない公園の場面があるのはなぜか、話し合う。</p>	<p>A：ちいちゃんと今の子どもたちとを比べながら、話し合うことができる。</p> <p>B：物語の最後にちいちゃんのない公園の場面があるのはなぜか、話し合うことができる。</p>
<p>A：がまくんとかえるくんが主人公の作品を読むことができ、物語の世界に浸ることができる。</p> <p>B：がまくんとかえるくんが主人公の作品を読むことができる。</p>	<p>がまくんとかえるくんを主人公にしたアーノルド＝ローベルの他の作品に親しむ。</p>	<p>広 め る</p>	<p>物語を読んで思ったことや考えたことを「ちいちゃんにおくるメッセージ」に書く。</p>	<p>A：ちいちゃんにあてた簡単な手紙や、平和への願いを込めたメッセージを書くことができる。</p> <p>B：ちいちゃんにあてた簡単な手紙を書くことができる。</p>
<p>A：学級の子に手紙を書くことができ、お手紙のよさを理解することができる。</p> <p>B：学級の子に手紙を書くことができる。</p>	<p>学級の子に手紙を書く。</p>		<p>戦争を題材とした「かわいそうなぞう」他の作品に親しむ。</p>	<p>A：戦争を題材とした作品を読むことができ、戦争の悲惨さや愚かさを感じることができる。</p> <p>B：戦争を題材とした作品と読むことができる。</p>

5 本時の指導

(1) 到達目標と具体の評価規準

到達目標

手紙のことを聞いて喜ぶがまくんと、幸せな二人の気持ちを読み取る。
 具体の評価規準と努力を要する児童への手だて

5 本時の指導

(1) 到達目標と具体の評価規準

到達目標

お母さんやお兄ちゃんの帰りを独りぼっちで待つちいちゃんの様子や気持ちを読み取る。
 具体の評価規準と努力を要する児童への手だて

<p>A (十分満足) 手紙のことを聞いて喜ぶがまくんと、親友の大切さ親友がいることの喜びを読み取ることができる。</p>	<p>A (十分満足) 「深くうなずきました」の言葉に注目し、ちいちゃんの気持ちを読み取ることができる。</p>
<p>B (おおむね満足) 手紙のことを聞いて喜ぶがまくんの気持ちを読み取ることができる。</p>	<p>B (おおむね満足) お母さんやお兄ちゃんの帰りを独りぼっちで待つちいちゃんの様子を読み取ることができる。</p>
<p>C (努力を要する児童への手だて) がまくんが幸せな気持ちになったことが分かる文を見つけ、線を引くことができる。</p>	<p>C (努力を要する児童への手だて) お母さんやお兄ちゃんの帰りを独りぼっちで待つちいちゃんの様子が書いてある文に、線を引くことができる。</p>

(2) 研究主題との関連

仮説3

様子を表す言葉、会話文に気をつけて読むために、お手紙を出したことを言うてしまうかえるくんと、そのことを知ったがまくんの気持ちを読み取らせる。

(2) 研究主題との関連

仮説3

情景や言動から人物の気持ちや場面の移り変わりを想像しながら読むために、お母さんやお兄ちゃんの帰りを独りぼっちで待つちいちゃんの様子や気持ちを読み取らせる。

(3) 展開

段階	児童の反応 評価 留意点		形態	児童の反応 評価 留意点		段階
	学習活動 教師の働きかけ (発問・指示)	学習活動 教師の働きかけ (発問・指示)		学習活動 教師の働きかけ (発問・指示)	学習活動 教師の働きかけ (発問・指示)	
漢字学習5	書き順を見ながら、正確に書いているかチェックする。	1 漢字スキル		1 漢字スキル	書き順を見ながら、正確に書いているかチェックする。	漢字学習5
持つ・見通す15分	課題を視写し、一斉読する。 読み取りの視点を与える。 「きみが。」 「ああ。」 「とてもいいお手紙だ。」 がまくんの気持ちを読み取ったか。(ノート)	2 学習課題の確認 どうしてがまくんは、しあわせな気持ちになったのだろう。 3 学習場面の把握 指示1 がまくんはどのあたりから幸せな気持ちになったのかを考えながら音読しましょう。 4 一人学び がまくんの言葉を読み取る。 指示2 どこで幸せな気持ちになったのか、ここから変わったよ、と言うところに線を引いてわけをノートに書きましょう。		2 学習場面の把握 指示1 ひとりぼっちになったちいちゃん言葉や様子に気をつけながら、音読しましょう。 3 課題をつかむ ちいちゃんは、お母さんやお兄ちゃんをどんな気持ちでまっているのだろう。 4 一人学び ちいちゃんの言動と様子を読み取る。 指示2 ちいちゃんの話したこと、会話文に線を引きましょう。	読み取りの視点を与える。 「おうちのところ。」 「ここがお兄ちゃんとあたしの部屋」 「お母ちゃんとお兄ちゃんは、きっと帰ってくるよ。」 ちいちゃんの話したところが分かるところに線を引く事ができたか。 (教科書)	持つ・見通す15分
学び合う20分				5 学び合い 発問1 ちいちゃんは「帰ってくるよ。」と言っているが、本当にお母さんやお兄ちゃんは帰ってくると信じているのだろうか。	信じている。 信じていない。	学び合う20分

	<p>「きみが。」 (名前) 「ああ。」 (名前) 「とてもいいお手紙だ。」 (名前)</p> <p>『親愛なるがまがえるくん。 ぼくは、きみがぼくの親友 であることを、うれしく思 っています。きみの親友か える。』</p> <p>親友・・・心から親しい友人 親愛・・・親しみ愛すること</p>	<p>5 学び合い 指示3 前を出て、自分はここだなど 思うところに名前を貼りましょ う。そして理由も言いましょう。</p> <p>指示4 かえるくんが書いたのは、ど んなお手紙でしたか。みんなで 一緒に読みましょう。</p> <p>指示4 がまくんの幸せさが分かるよ うに「ああ。」を言ってみまし ょう。</p> <p>発問1 親友ってどういう意味ですか。 親愛ってどういう意味ですか。</p>		<p>指示3 その根拠(信じているところ) が分かる文を探して黒板に書い てください。</p> <p>・根拠になっているところを確 認する。</p>	<p>信じている派 ・「きっと帰ってくるよ。」と 言っているから。 ・おばちゃんについて行かなか ったから。 信じていない派 ・町の様子は、すっかりかわ っています。 ・どこがうちなのかー。 ・家は、やけ落ちてなくなっ ていました。</p> <p>・P13L5~7</p>	
<p>広 め る 5 分</p>	<p>・かえるくんとがまくんのよ うに幸せな気持ちで音読を する。</p>	<p>6 まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>ぼくのことを親友って言 ってくれてうれしいな。</p> </div> <p>7 広める 8 次時の学習を知る。</p>		<p>6 まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>お母さんとお兄ちゃんは、 きっと帰ってくるとちい ちゃんはしんじている。</p> </div> <p>7 広める 8 次時の学習を知る。</p>	<p>・ちいちゃんの心細い様子が 分かるように音読する。</p>	<p>広 め る 5 分</p>

6. 板書計画

2年生

まとめ
ぼくのことを親友って言うって
くれてうれしな。

「きみが。」
「ああ。」
「とてもいいお手紙だ。」
『親愛なるがまがえるくん。ぼく
は、きみがぼくの親友であること
を、うれしく思っています。きみ
の親友かえる。』
親友・・・心から親しい友人
親愛・・・親しみ愛すること
うれしいな

かだい
どうしてがまくんは、しあわせ
な気もちになったのだろう。

3年生

まとめ
お母さんとお兄ちゃんは、きつ
と帰ってくる。とちいちゃんはしん
じている。

信じていない
町の様子は、すっかりかわって
います。
・どこがうちなのか。
・家は、やけ落ちてなくなってい
ました。

絵

信じている
・「きつと帰ってくるよ。」と言
っているから。
・おばちゃんについて行かなか
ったから。

かだい
ちいちゃんは、お母さんやお兄
ちゃんをどんな気もちでまっ
ているの
だろう。